

総括

●今年度の実績

○小牧山

～小牧山を軸としたオンラインでのプロモーションの展開～

来訪者へのおもてなしとして導入した「小牧山AR」の後継として、VRを用いてよりコンテンツを充実させた「お家 de 小牧観光」をホームページで公開しました。また、大河ドラマ「麒麟がくる」の放映に因んだプロモーションの実施や大規模な城郭イベントへの出展を行いました。

○名古屋コーチン

～魅力創出・発信と販売促進支援の強化～

小牧市商工会議所を中心に、(一社)小牧市観光協会と市の連携により、名古屋コーチンを使ったコーチンレシピ動画を作成し、公開・発信するとともに、ECサイト「みやげっと」への登録により、オンラインでより手軽に名古屋コーチンの関連商品を購入できるよう販売促進支援の強化を行いました。

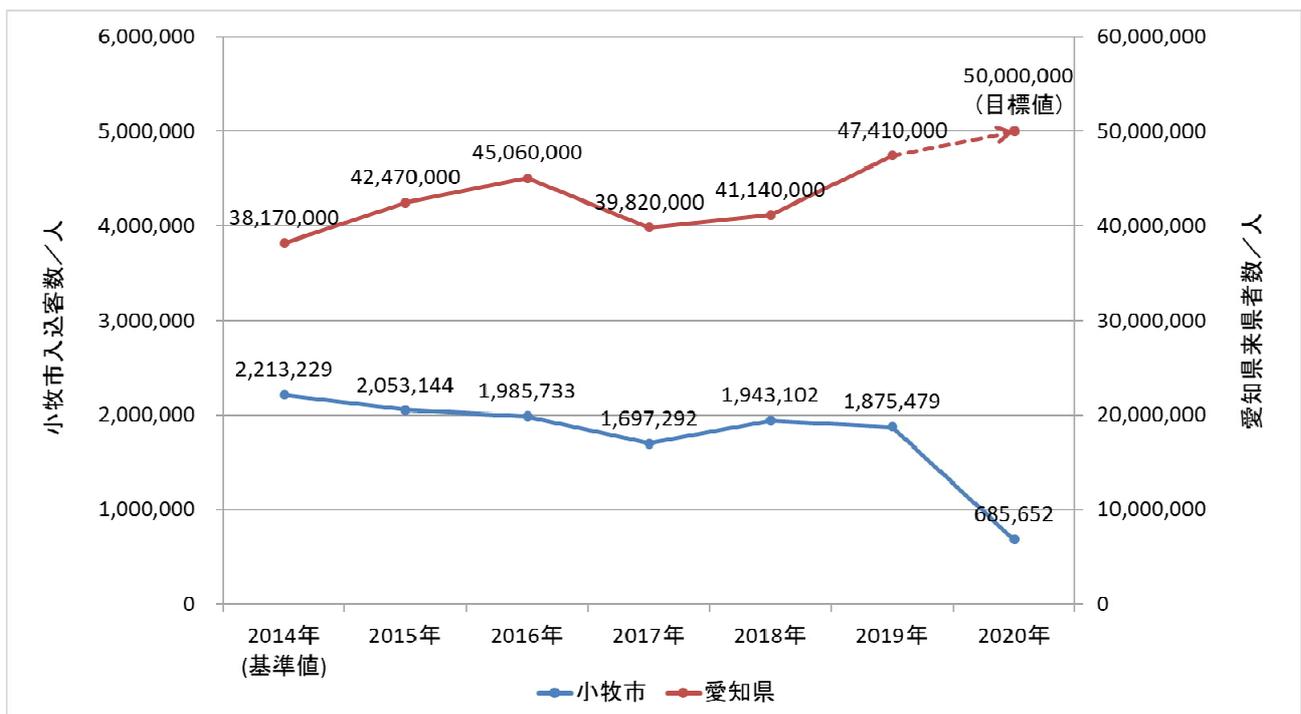
○総合事業

～オンラインでの魅力発信と安心安全な旅の提供～

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応して、既存パンフレットの電子化を実施し、オンラインによる情報提供を強化し、安心安全な旅の提供のために感染防止対策啓発素材の提供や観光施設のオープン状況などの一覧化を実施しました。

●今年度の評価と課題

◆主要なイベント及び地域資源への来訪者の数(交流人口)



※愛知県の数値は「令和元年度版あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況・来県者数」による

**総括**

主要なイベント及び地域資源への来訪者の数(交流人口)は、2013年に「小牧山城築城 450年記念」の各種記念事業を実施したことにより2,522,150人と大幅に伸びたものの、その後は減少傾向にあります。

また、市民意識調査の結果では、本市の観光スポット・食文化に対する紹介意向が調査開始をした2014年度から微減、ほぼ横ばいを続けています。しかしながらこういった意識の育成向上は一朝一夕には進まないものであることから、計画に定めた「育てる」「磨く」「つなぐ」「伝える」の4つの基本施策を丁寧に繰り返し実施していく必要があると考えます。

加えて、2020年度は新型コロナウイルス感染症が全世界的に猛威を振るい、イベントをはじめ様々な事業が市内、県内のみならず全国的に中止となり、観光振興に取り組むうえで非常に厳しい状況でした。小牧市ではこの状況に対応するため、コロナ収束後の観光振興につながる、収束までの間に取り組むべきことを「小牧市観光振興基本計画 with コロナ版」としてまとめ、策定しました。今後新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、国内外の感染状況を注視しながら「小牧市観光振興基本計画 with コロナ版」を柔軟に運用し、観光振興に取り組んでいきます。

**●2021年度以降の方向性**

「小牧山」、「名古屋コーチン」、「航空宇宙産業」に関しては、延伸した「小牧市観光振興基本計画(2016-2020)」に沿って事業を実施しながら、新たに付加計画として策定した「小牧市観光振興基本計画 with コロナ版」に挙げたように、オンラインを中心とした情報提供を強化していきます。

この「小牧市観光振興基本計画 with コロナ版」については、国内外の新型コロナウイルス感染症及び観光の状況を随時確認しながら、必要に応じて変更・修正を加え、柔軟に小牧市の観光振興に取り組んでいきます。